

第2節 人口の変化が与える影響

1. 保育ニーズの増大

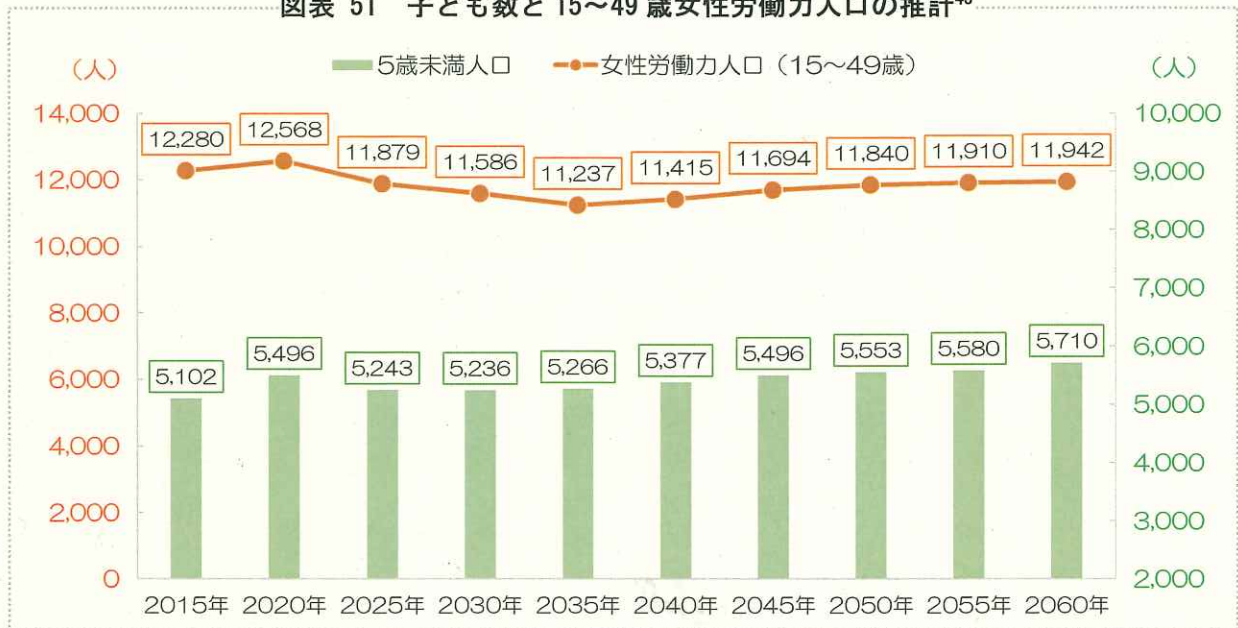
本市の5歳未満の子ども数は、2015年の5,102人から徐々に増加していくものと推計されています。

子ども数が増加すれば、それに比例して保育ニーズも高まっていきます。2010年時点の女性労働力率が今後も続くと仮定し、15歳から49歳までの女性労働力人口を推計してみると、2020年をピークとして一度減少し、2040年からは徐々に増加する見込みです。

なお、女性労働力率は、男女平等推進の取組等により上昇することも考えられるため、推計値よりも高い値になる可能性もあります。

子どもや働く女性の数の変化に応じた保育環境の拡充は、今後においても本市の重要な課題となります。

図表 51 子ども数と15～49歳女性労働力人口の推計⁴⁵



⁴⁵ 住民基本台帳人口 (2015年 (10月時点))、自然体推計値 (日進市・2020年以降)